

会 報

鳥 取

第 32 号

2018年 1月



表紙	1	シルバー人材センターの紹介	16~17
目 次		会員のひろば (米子広域、湯梨浜町)	18~19
新年の挨拶 (連合会会長)	2	趣味のひとつ (境港市、北栄町)	20~21
新年の挨拶 (鳥取労働局長)	3	講習会に参加して	22~23
理事長の抱負	4~10	会員名簿・あとがき (裏表紙)	24
平成29年度事業実施状況	11~13		
高齢者活躍人材育成事業実施状況	14~15		

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

新年のごあいさつ



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 山 脇 誠

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、新年を健やかに迎えのことでお慶び申し上げます。連合会の運営にあたりましては、ご協力とご支援をいただき感謝申し上げます。

また、行政をはじめ関係機関の皆様には、シルバー事業にご理解とご指導を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年6月に宇野会長の後を受け、連合会長という重責を担うこととなりました。これまで歴代の会長さんが築いてこられた連合会の確たる地位や功績をけがさぬよう、微力ではありますが職責を全うする決意を新たにいたしました。就任早々ではありませんでしたが、中国5県の持ち回りで行なわれます、中国ブロック役員研修会を米子市で開催いたしました。当初予定を大幅

に上回る240人の参加を得て無事終了することが

できました。役員の皆さん、県下各センターの皆さんを始め事務局の皆さんには改めて感謝を申し上げます。

さて、少子・高齢社会が進行していく中で、

労働力不足は益々深刻になっております。鳥取県においても、有効求人倍率が1・65倍（H29・7）と25年ぶりの高水準ということで、業種によっては人手が足りない状況が起こっております。国は労働力人口が減少している中で、成長を確保するために、「働き方改革実行計画」を作成され、高齢者に、より多くの就業機会を提供する方針が打ち出されました。そうした中でシルバー人材センターの役割は益々重要になり、期待されているところであります。一方、シルバー人材センターは「会員の確保」、「安全

頌 春

適正就業の実施」等の課題を抱えておりますが、課題克服に向けて、皆さんと共に取り組んでまいりたいと思っております。

この一年が、関係者の皆様にとって明るい年になりますことを祈念し、新年のごあいさついたします。



新年のご挨拶



鳥取労働局長

内田敏之

で、有効求人数は35か月連続で前年同月を上回り、雇用情勢は着実に改善が進んでいる状況です。

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、新年を寿ぐとともに皆様のご健勝を心からお祝い申し上げます。

昨年は、衆議院解散による選挙が行われ政治的に大きな変動があった年です。また、経済的には、海外経済の緩やかな回復等を背景に、輸出や生産の持ち直しが続き、個人消費も緩やかに持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調が続いているところです。

昨年10月の鳥取県の有効求人倍率は1・65倍

さて、昨年3月に政府の働き方改革実現会議で決定された「働き方改革実行計画」では高齢者の就業促進という項目で、年齢に関わりなくエイジレスで働けるよう、高齢期に限らず、希望する方のキャリアアチェンジを促進する。さらに、地域の様々な機関が連携して高齢者の就業機会を創る取り組みの中で、起業の促進を図る。また、健康づくりやフレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供する、とされているところです。

少子高齢化が急速に進む今日において、意欲ある高年齢者が生涯現役として多様な形で社会

参加するためには、活力ある高齢社会を支えるという意味で、シルバー人材センターの担う役割と期待は非常に大きいものがあると思われるます。鳥取労働局としても、生涯現役社会の実現を目指し、高年齢者が地域で働ける場や社会を支え活動できる場の拡大に取り組んでいるところです。

シルバー人材センターの皆様には、就業先や新規事業の開拓など、新たなニーズに対応いただけるよう、益々の積極的な取組活動をご期待申し上げます。

「生涯現役社会」を実現するためにも、シルバー人材センター事業の益々のご発展と充実、会員の皆様のご健勝を祈念しまして、新年に当たつてのご挨拶といたします。



シルバー人材センター

理事長の抱負

への就業機会の拡大に努めるとともに補助制度の算定基礎となっている労働者派遣事業に鳥取市の財政支援を受けながら、積極的に取り組んでまいります。

公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター



理事長 田中 勉

新年あけましておめでとございます。

我が国においては、少子高齢化が進展し、長期の人口減少過程に入っています。労働人口は、減少し、政府は「ニッポン一億総活躍プラン」を発表する等、高齢者を労働人口に活用する施策を施しています。この担い手であるシルバー人材センターの役割がますます、大きなものになっています。

さて、我が国は、人口が減少する一方、高齢化率が上がり、生産年齢人口が減少してきています。このことは、医療保険や年金等を支える一人当たりの負担を大きくし社会保障制度そのものを危うくする要因となっています。

また、一方で、短時間就業や早朝、夕夜間就業、介護、育児等の現役世代を支える分野における労働力不足が生じています。

鳥取市シルバー人材センターは、これからの分野

年度から開始された「鳥取市生活支援・介護予防サービス」の体制整備に向けて設置された「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」の委員として鳥取市シルバー人材センターも加わり、事業参入にむけて、会員の拡大や研修、事務局体制の整備等の準備を進めていきたいと考えています。

鳥取市シルバー人材センターは、鳥取市をはじめとする行政機関等と連携を図りながら高齢者の福祉の増進に寄与し、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしていきます。

終わりに、皆様にとって、明るく、希望に満ちた良い年になりますことを祈念して新年のご挨拶いたします。

公益社団法人 米子広域シルバー人材センター



理事長 仲村 一男

新年あけましておめでとございます。

シルバー連合会会員・役職員、事業関係者の皆様

におかれては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様のご支持と米子市・日吉津村など関係機関のご支援・ご協力により、不断の事業運営が図られておりますことを厚くお礼申し上げます。さて、平成二十八年度の事業実績（受託+派遣事業）は、会員数七九七名、契約金額二億三千五百万円、就業延べ六万三千三百人日で概ね三〇四％増でした。受託事業か派遣事業のいずれかで就業のあった実人員は五八八人で、実質的な就業率は七三・八％でした。

現在は、人手不足を背景に現役世代の働き手の代わりの問合せがあるような状況で、地域からの需要と高齢者の皆さんの対応、供給の結合には更なる工夫や取組みが必要に思います。

そこでこれを好機と捉え、会員の増強・拡大については、関係各位の取り組みに基づく就業機会の拡大と提供とに連動して図れるのではないかと考えるところではあります。

昨年末、理事長に就任いたしました。前宇野理事長と同様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。また、平成三十年度は設立三十五年記念事業も挙行いたします。合わせて、よろしくお願いいたします。

会員各位や地域の皆様の引き続きのご理解・ご協力をお願いと、事業関係者の皆様のご健勝並びにご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶を申しあげます。

公益社団法人 倉吉市シルバー

人材センター



理事長 山脇 誠

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、少子・高齢社会が進行していく中で労働力不足は益々深刻になっております。鳥取県においても、有効求人倍率が1・65倍（H29・7）と25年ぶりの高水準ということで、業種によっては人手が足りない状況が起こっております。一方、ある調査によると、「高齢者の7割近くが、65歳を超えても働きたいと願っているが、実際に働いている人は2割にとどまっている」ということで、まだまだ働く意欲のある高齢者が沢山おられるということだそうです。そうした中、国は高齢者に、より多くの就業機会を提供する方針を打ち出されました。シルバー人材センターの役割は益々重要になり、期待されるようになっております。

一方、シルバー人材センターの現状は「会員の確保」、「安全、適正就業の実施」等の課題を抱えておりますが、この期待に応えるべく、高齢者にとって魅力ある、働きやすいセンターとして、さらに地域から愛され、利用者から信頼されるセンターを目指して、微力ではありますが取り組んでまいりたいと

考えております。

この一年が、会員の皆様にとって明るい、希望に満ちた年でありますことを祈念して、新年の抱負といたします。

公益社団法人 境港市シルバー

人材センター



理事長 高松 武美

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに、平成三十年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、我が国の総人口は平成二十年をピークに減少過程に入り、平成六十年には一億人を切ると推計されていますが、高齢化率も平成四十七年には、33%となり三人に一人が高齢者になると予測されています。超高齢化社会と併せ労働人口の減少が懸念されています。

この様な中であって、国が進める一億総活躍プランに沿って、高齢者が意欲と能力のある限り働くことのできる社会の構築が進められておりますが、高齢者の七割近くが六十五歳を超えても働きたい願望があるにも関わらず実際に働いている人は二割に止まっているという現状があります。シルバー人材センターの会員が増えないことが課題になる中、まだまだ伸びる余地があります。会員の確保について魅

力あるシルバーづくりと合わせ取り組んで参りたいと思っております。

平成二十九年度から当センターでは、介護予防・家事援助サービスとして、市の委託により、室内清掃、調理等をセンターが実施しています。また、昨年五月に市と締結しました「空家等の適正な管理を推進する協定」に基づく空家管理、墓地清掃管理等、地域支援事業を引き続き実施して参ります。

高齢者は働くことによつて「健康寿命」伸ばすことが可能になります。センターの会員が増えることはそれだけ元気な高齢者を増やすことでもあり、介護保険や医療費の削減にも貢献をしています。今後、も受手ではなく、地域を支えるという気概を持つて、会員の確保、就業開拓に重点的に取り組み、地域の皆さんに喜ばれ、信頼されるセンターとなるよう努めて参りたいと考えています。

本年も会員の皆様、関係者の皆様の変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

公益社団法人 南部広域シルバー

人材センター



理事長 有馬 均

会員、役職員の皆様明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

私は平成十五年に会員となり、その後、理事、副

理事長、そして平成二十八年五月に理事長に就任しました。理事長に就任し新たな抱負はありませんが平素から思っていること、考えていることを申し上げます。

先ずは、シルバー人材センター事業を運営するにあたって大切なことは、役職員はもとより会員は常に「相互に補完」し、「協力」ではなく「協働」し、「参加する」のではなく「参画する」ことであると思っております。

そして就業するにあつては、安全が第一、すなわち「安全はすべてに優先する」ということです。本年度、全国的に事故が多発しております。中でも死亡事故が増加しており、このことをたいへん重く受け止めています。

改めて安全マニュアルを愚直に遵守し、「安全第一」を常に意識して、重篤事故はもとより軽微な事故も「ゼロ」を目標としなければならないと思っております。

このほか「法令順守」、「地域社会への貢献（地域の皆様、企業、団体等のニーズに応える）」、「就業先の開拓」を実行しなければなりません。

最後に我々センターにおいては、会員が微減の状況であり、会員の拡大に努めなければならないと思っております。会員の増加を役職員、会員みんなが一丸となって取り組み、そして、活力あるシルバー人材センターをめざします。



理事長 小林 實夫

公益社団法人 智頭町シルバー人材センター

新年明けましておめでとうございます。

鳥取県シルバー連合会会員及び各センターの会員におかれましては、希望に満ちた新春を迎えることとお慶び申し上げます。

さて、我が国の高齢化は予想の域を超えて進み、本格的な超高齢化社会を迎えております。いまの超高齢化の社会において経済の活力を維持して行くには働く意欲をもった高齢者の方々が長年培ってこられた「知識や技能経験」をいかして積極的な社会参加が強く求められています。こうした時代の要請は大きく、地域活力を維持するためにもシルバー人材センターの重要性は高まっております。

また、介護保険制度が改正され、比較的軽度の方に対する介護サービスが、介護保険の本体から外れ、「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行され、市区町村が実施主体となります。その中で当センターでは、智頭町地域包括支援センター、智頭町社会福祉協議会とも連携し、平成二十八年度からちづ森のミニデイ「杉の郷」を週二回行っております。

この外、公共交通として、福祉有償運送と公共交通空白地有償運送を実施しており、自宅や指定の場所から目的地(戸口〜戸口)まで送迎しております。

今後ますます発展していくために、役職員が一丸となって、安全適正就業の徹底、就業機会の拡大と、効率良く効果的な事業運営に引き続き取り組んでまいりたいと思っております。

終わりに、関係各位のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝・御多幸を心より祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



理事長 溝口 修

公益社団法人 岩美町シルバー人材センター

新年あけましておめでとうございます。

高い席からですが、鳥取県のシルバー人材センターの皆さまのご健勝をお祝い申し上げます、併せて平日頃のお世話に感謝致します。

岩美町シルバー人材センターは、昨年、創立二十二年を迎え、事業活動、会員親睦、ボランティア活動などの更なる充実を誓いました。

平成二十九年度も契約額・就業率と独自事業の正月飾り作りも目標達成の見込みで順調です。

ひとえに信頼しご支援頂いた岩美町や民間企業様、多くの町民の皆様のご協力のもと、誠実に仕事に取り組んだ会員皆様の努力の賜物であり、心より感謝とお礼を申し上げます。高齢者の卓越した技能と笑

顔が次世代に連鎖して地域に根づいている証です。現在、国において、生涯現役社会の政策が進められており、シルバー人材センターには「地域づくり」の役割が期待されています。

本年四月に『(仮称)ユニバーサルデザインしごと交流センター』が旧本庄小学校跡地へ、四月にオープンします。この施設は子育て世代、障害者、高齢者が交流し互いにサポートしながら働く拠点です。この施設への移動にあたり皆様のご理解とご協力を頂きますよう宜しくお願いします。新しい複合施設で手を取り合い「ほほえみ」一杯で働き「誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり」への一翼を担いましょう。

多くの仕事が、地域からシルバー人材センターへと寄せられていることは、会員の皆様方への信頼の表れであり、何よりも誇れる勲章であると存じます。しかし、会員数は微減しており、現在百四十四名です。団塊の世代の高齢化は、会員拡大のチャンスです。

「あのような元気な高齢者になりたい」と言われているシルバー人材センターですと会員加入の呼び掛けをお願いします。

「仲間と働くから元気、元気だから働く」の好循環をモットーに地域貢献し、生き甲斐を共に創りましょう。

本年も会員で良かった、地域からもシルバーセンターに依頼してよかったと信頼されるよう「熱誠」で、皆様のご協力をお願いします。

今年も関係各位のご支援とご協力をうけ賜りますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念し、年頭のご挨拶とします。



公益社団法人 湯梨浜町シルバー人材センター

理事長 小居 貞歳

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、社会全体がシルバー年代に多くの就業機会を求めています但我々が構成する組織は、その実態になかなか近づいていないと思われまます。当センターのような小規模な組織では、広範多岐の分野で地域の要請に応えるだけの構成となっておりません。会員確保と専門的な人材養成とが相まっつての受注

促進になるように本年の努力目標を掲げます。

昨年は、適正就業ガイドラインの研修を数回に分けて実施しました、お客様に対するご理解を深めていただくための冊子配布など行いました。そのことを通じて、会員意識の中に徐々に浸透した部分もあります。本年も引き続き研修の場を設定してまいります。

昨年の反省の中に、「蜂刺され」の現場が多くあった点です。特に、キイロスズメバチの被害では重

症化した例もあり注意が必要です現場の状況確認、作業中の注意事項を再度徹底して、事前駆除などの対策を講じてまいりたく考えております。

平成二十九年度は受注額も増額し、会員数も微増の状況で推移しました。公共施設管理等で発注方法の見直しをしていただいたお陰であります。この部分の就業率も高くなり多くの会員に配分することができました。

これはひとえに、行政、地域の皆様の温かいご理解ご協力の賜と深く感謝いたしております。

この一年が、関係各位にとって明るく楽しい年になりますことをご祈念申し上げます。



公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター

理事長 田中 明

新年明けましておめでとうございます。

皆様の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃はシルバー事業の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼をいたします。

役員研修会に於いてシルバー人材センターの事業における今後の取り組み方向についてと題して基調講演を拝聴いたしました。

高齢化になっっている中であって高齢者の7割近く

が65歳を超えても働きたいと希望を持っているにもかかわらずシルバー会員を含めて実際に働いている高齢者は2割にとどまっていると云われています。

高齢者の就業ニーズの多様化、人口減少、少子高齢化、労働力の不足等の現状で就業時間緩和（週20時間→週40時間）となったが益々進む少子高齢化の中で退職後の40時間は高齢者に取っては現状では無理ではなからうか。シルバー人材センター事業は自主、自立、共働、共助の基本理念に基づき安全第一を基本としながら、会員の増加、就業機会の確保、健全な財政運営を目指してまいります。

楽しく、明るく健康で暮らせる地域社会に関係者を初め会員の協力を求めて、地域の環境に応じた事業展開を目ざしていきます。

関係各位の一層のご指導ご支援をお願いすると共に、皆様のご健康を祈念いたし新年のご挨拶いたします。



公益社団法人 北栄町シルバー
人材センター

理事長 日置 勝彦

あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

昨年中は、重篤事故もなく就業機会の増加により、

事業実績も拡大するなど、厳しい環境の中でも安定した北栄町シルバー人材センターの運営を進めることができましたことに感謝申し上げます。

さて、少子高齢化は更に進み、あらゆる分野において人手不足が叫ばれています。特に育児や医療・介護等の福祉関係では深刻な問題となっており、シルバー人材センター等を通じた高齢人材の活用が現実味を帯びてきています。

一方、「生涯現役社会」を実現するため、高齢者の働きたいとの願望をかなえるための就業支援の充実の取り組みも進められています。本シルバー人材センターとしても避けて通れない課題となってきました。

会員拡大については、ここ数年会員増が図られたものの、高齢による退会者も続いています。会員の拡大は、最も基本的な課題であり、何よりも重視せねばならないものです。

お客様の期待に応えるためにも引き続き就業機会の拡大と会員拡大の取り組みを意識してまいります。また、会員増により今年度から補助金単価のランクが「C」から「B」ランクに格上げになる見込みであり、さらに充実した運営を図りたいと存じます。

特に、事業実績の確保につきましては、独自事業の充実と派遣事業推進員によるシルバー派遣による就業先の開拓に力を入れるとともに、会員加入促進の取り組み強化に努めたいと考えています。

また、安全適正就業については、全国表彰に恥じないよう安全意識の徹底を図りたいと思います。

この一年が、関係者の皆様にとって明るい年になりますことを祈念し、新年の抱負いたします。



公益社団法人 大山町シルバー
人材センター

理事長 近藤 昭夫

新年あけましておめでとうございます。

平素はシルバー人材センターの業務並びに運営に対し、ご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。

我が国は総人口に占める65歳以上の割合が20%以上で、大山町では30%を超え、更に20年後は40%に達するとの試算がされ、しかも現在では少子高齢化に突入しつつあります。

これに少しでも対処するには、シルバーの生涯現役社会を国が大声を出して、国民に説明し、実現することが急務であると考えております。

一方、我がシルバー人材センターは毎年のことではありますが、会員の増強、新規の就業開拓、併せ派遣事業の開拓と当たり前のことではありますが、いずれも重要な内容であります。

その中であって新規に取り組む事業として高齢者宅の日常のお世話、そして可能であれば子育て世帯の育児支援事業の取り組み等に少しでも手助けが可能であれば願う次第であります。

シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・

共助」を再認識して全員で進む決意です。そして、健康増進に努め、地域社会の活性化に繋げることがシルバーの責務であると確信しております。

最後になりましたが大山町の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 八頭町シルバー
人材センター



理事長 衣笠 春壽

新年あけましておめでとうございます。

県各シルバー人材センター会員の皆様、関係各位におかれましては新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年の正月にもシルバー人材センターをとりまく状況に何かしら好転の兆しを願う初夢を見たところがあります。

数年来、昨年も世界は紛争、テロにまみれ、また異常気象により地球上の各地でこっぴどく自然、環境が破壊される現象が見えました。加えて社会の情報への広がりは毎日のように深刻な事件、事故を知らせており、この現代社会の混乱しか感じられない：複雑で困難：まことに不安にかられるばかりであり、ましては、しかし悲観論ばかりで私たちシルバー世代が生きて来たわけではありません。八頭町シルバー人材センターは法人としてスタート以来、十年目の節

目を迎える年となります。少子高齢化は好まずとも、いずれ歴史上かつて経験のない姿に向けて地域社会をせん滅させることもあろう勢いでせまってきた。それでもシルバーが元気に迎える十年目会員・役員・事務局が一緒になつて組織の充実を図りながら、地域貢献を前進させ、社会的に少しずつ信頼を高めて来た十年であったように思います。あの暑さの中で大きな事故もなく多くの会員が積み重ねて来た歩みが今日のシルバーの支えであります。今年も会員数の増はまず期待できません。会員の高齢化を迎える戦力の減少が厳しい現状です。改めて事故のない安全なシルバーの活動、地域貢献、生きがいづくりの推進、穏やかな会員相互の融和を図りたいと念じているところです。

皆様のますますのご指導をお願いします。

江府町シルバー
人材センター



理事長 山本 信男

新年明けましておめでとうございます。

シルバー連合会・会員をはじめ、事業関係者の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も「自主・自立・共働・共助」を基本理念に

掲げ、「小さくてもキラリと輝くシルバー人材センター」・「会員同士お互いの顔が見えるシルバー人材センター」・「地域の皆様から必要とされるシルバー人材センター」の三つを活動の礎として活動してまいります。

当センターは、県下最小のシルバー人材センターであり、六十歳定年も雇用が延長傾向にあり、入会される方は少なく会員の高齢化も進み作業配慮に苦慮している現状です。

剪定作業の依頼も増加傾向にあり、講習会等の受講により、作業のできる人材の育成とともに、農業従事者の高齢化に伴う草刈り依頼の増加、このような状況に対応できる会員数の増加と技能向上に取り組んでまいりたいと思います。

一昨年、当シルバー人材センターは江府町社会福祉協議会のボランティアセンターへの参入、地元の特定非営利活動法人奥大山倶楽部へ昨年からは江府町社会福祉協議会への事務機能委託等変遷の一年でした。会員にも町民にもより愛される定着できるシルバー人材センターづくりに関わりたいと思っております。これからも皆様に一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





日南町シルバー
人材センター
会長 池岡 利行

新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会、会員の方々、事業関係者の方々、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

十一月も終わりに近づいたある日、日南町シルバー人材センター事務局から「庭木の剪定の依頼が入っていますので実施してください」と連絡が入った。早速現地を訪ねてみるとびっくり？庭の広さもあるが、庭木の本数も高さこそないが太さも枝葉の繁り方も今迄剪定をしてきた庭に比べ遥かに大きいものだった。

家主から剪定の程度を伺うと「しっかりと切つて明るくしてください。一任します。」とのこと。翌日剪定班員四名を集め、作業分担を行い、安全のための手順を確認し合い作業開始となる。大人数だけあって能率もよく雑談に花を咲かせ、途中休憩を入れながらも楽しく仕事を「コナス」姿に家主さんも感心の様子でした。

大剪定作業も、雨で休んだ日も含め四日間で何事もなく無事に終了することが出来ました。多勢で楽しく作業をすることを改めて味わいました。

剪定が終わった庭を見て家主さんに「立派な庭にしてもらった。これが本当の庭だ。これでいい正月

が迎えられる」としきりに感激され我々も思わず嬉しくなってしまうました。本年も安全就業で、無事故を目指して頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



三朝町シルバー
人材センター
理事長 田渕 忠昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

当センターは、会員五十五名の小規模センターですが、幸いに町の前向きな支援を受けており、仕事量が年々増えております。

しかしながら、会員の増加に苦慮している現状であり、高齢化が進むなか、一部の作業には支障を余儀なくされる事態もおきつつあり、作業体系も考慮しなくてはならない時期になっているのが現状であります。

会員の募集も会員、各理事の皆様のを結集して取り組んでいるところではありますが、会員の拡大には至っておりません。

仕事の依頼は、多岐にわたり増加しており対応に苦慮している状態であります。募集にあたりよく聞く話に、一番大きな課題は六十五歳定年制移行によ

り、六十歳を過ぎても雇用される人が多く退職してからシルバーに転向する意欲がわかない点もあるようです。

これからのシルバー人材センターの運営は人口の多い少ないに大きく左右されるのではないかと思います。しかしながら作業の依頼には対応していかないと作業数の低下を招く恐れもあり、当センターでは高齢の方々に体力の無理のないところで頑張つていただいております。

本年抱負と題して投稿を依頼されましたが、会員の増加に力をいれたいというところでもあります。

この一年が関係者の皆様にとつて明るい年になりますことを祈念し、また会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



平成二十九年事業実施状況

平成二十九年 定時総会

六月二十日(火) 倉吉市

定時総会が開催されすべての議案が原案のとおり承認されました。

- 第一号議案 平成二十八年度事業報告承認の件
- 第二号議案 平成二十八年度決算報告承認「監査報告」の件
- 第三号議案 定款第四条改正の件
- 第四号議案 第十期役員選任の件

第一回理事会

六月五日(月) 倉吉市

審議された議案は次のとおりでいずれも原案のとおり承認されました。

- 第一号議案 平成二十九年定時総会(案)について
- 第二号議案 平成二十八年年度収支補正予算書(案)につ



- 第三号議案 平成二十八年度事業実施報告書(案)及び収支計算書(案)「監査報告」
- 第四号議案 平成二十九年年度収支補正予算書(案)について
- 第五号議案 第十期理事・監事候補者の選任について

第二回理事会

十一月十日(金) 倉吉市

- 第一号議案 平成二十九年年度収支補正予算書(案)について
- 第二号議案 理事退任について



安全・適正就業推進委員会

六月九日(金) 倉吉市(出席者十二名) 議題

- 一、平成二十九年安全・適正就業推進事業基本計画(案)について
- 二、平成二十八年度事故(傷害・賠償)発生状況及び安全・適正就業パトロール実施状況について
- 三、平成二十九年安全・適正就業推進研修会について

安全・適正就業研修会

七月三日(月) 倉吉市

- (センター役員・会員九十二名が参加)
- 安全就業標語の表彰(二百五十七編の中から最優秀賞・優秀賞・入選の十一名)
- 最優秀賞「安全は一つ一つの動作から」
- 講話「安全な剪定作業をしよう」(公社) 米子広域シルバー人材センター植栽班 増田広利氏
- 講和「重大傷害事故の防止」(公社) 湯梨浜町シルバー人材センター副理事長 森田光雄氏
- 事例発表「事故事例について」(公社) 智頭町シルバー人材センター事務局長 岡本甚一郎氏
- 事例発表「日頃心がけていること」日南シルバー人材センター会長 池岡利行氏
- 最後に全員で「安全・適正就業宣言」を唱和して終了しました。

第一回理事長・会長、事務局長会議

六月十四日(水) 倉吉市

- 一、労働局から説明
- 二、第一回都道府県連合事務局長会議伝達

第二回理事長・会長、事務局長会議

十月十一日（水）倉吉市

- 一、労働局説明
- 二、第二回都道府県連合事務局長会議伝達
- 三、経験交流大会について
- 四、中国ブロック役員研修会について

鳥取県経験交流大会

十月十七日（金）倉吉市

（センター役員・会員・市町村担当者八十八名の参加）

○基調講演「これからの健康づくり」鳥取看護大学 学長近田敬子氏

○講話「理事長就任一年をむかえて」
（公社）鳥取市シルバー人材センター理事長
田中勉氏



○講話「理事長に就任して思うこと」

（公社）南部広域シルバー人材センター理事長
有馬均氏

中国ブロック実務担当者研修会

九月二十八日～二十九日 米子市

（中国五県から百十九名の参加）

○基調講演「期待されるシルバー人材センターであり続けるために」（公社）全シ協事務局 長 今野文平氏

○事例発表「会員増強について」（公社）海田町S.C主任 堂段武宣氏

○事例発表「我がシルバー人材センターの取組」（公社）赤磐市S.C主任 鶴見嘉代氏

○事例発表「普及啓発と適正就業の取組」（公社）鳥取市S.C専務理事・事務局長 山本雅宏氏

○分科会

「会員拡大・就業機会の拡大について」



「剰余金の有効な活用方法について」



安全パトロール



東部：鳥取市シルバー人材センター
平成29年10月18日（水）



西部：米子広域シルバー人材センター
平成29年7月21日（金）



中部：倉吉市シルバー人材センター
平成29年9月13日（水）

中国ブロック役職員研修会

十一月十六日、十七日 米子市

（中国五県から二百四十一名の参加）

○基調講演「シルバー人材センター事業における今後の取組の方向性について」厚労省就業対策係長

古口浩一氏



○講演「シルバー人材センター事業の現状と課題」
全シ協専務理事 村木太郎氏



○講演「改正個人情報保護法について」NRI社会
情報システム課長 兼永敏博氏



平成29年度 高齢者活躍人材育成事業 技能講習

地域の元気な高齢者に、人手不足分野・現役世代を支える分野の派遣、請負、職業紹介の仕事に必要な能力を身に付けて就業していただくために、各地域のシルバー人材センターの協力のもと技能講習を実施しました。

	開催地	講習名	日程	日数	定員	受講者	修了者
1	境港	草刈講習	4月24日(月)	1	20	15	15
2	米子	剪定講習・春	5月12日(金)	1	20	23	23
3	大山	剪定講習	5月30日(火)	1	15	6	6
4	八頭	剪定講習	6月5日(月)	1	20	16	16
5	鳥取	パソコン講習・初級	6月7日(水)～9日(金)	3	15	16	16
6	鳥取	パソコン講習・中級	6月12日(月)～15日(木)	4	15	19	19
7	鳥取	剪定講習・初級	6月12日(月)～13日(火)	2	20	14	14
8	米子	パソコン講習・初級	6月14日(水)～16日(金)	3	15	17	17
9	米子	パソコン講習・中級	6月19日(月)～22日(木)	4	15	11	11
10	湯梨浜	草刈講習	6月21日(水)	1	20	20	20
11	南部	草刈講習	6月23日(金)	1	20	12	12
12	南部	剪定講習	7月4日(火)～5日(水)	2	20	13	13
13	岩美	接遇・マナー講習	7月5日(水)	1	20	23	23
14	米子	接遇・マナー講習	7月14日(金)	1	15	15	15
15	鳥取	接遇・マナー講習	7月19日(水)	1	15	36	36
16	倉吉	接遇・マナー講習	7月21日(金)	1	15	14	14
17	米子	ハウスクリーニング講習	7月25日(火)～26日(水)	2	10	28	28
18	鳥取	きもの着付講習	8月1日(火)	1	10	9	9
19	鳥取	接遇・マナー講習	8月21日(月)	1	30	14	14
20	米子	介護送迎運転講習	8月22日(火)～23日(水)	2	15	6	6
21	境港	接遇・マナー講習	8月25日(金)	1	15	17	17
22	倉吉	接遇・マナー講習	8月28日(月)	1	30	28	28
23	米子	接遇・マナー講習	8月30日(水)	1	30	30	30
24	鳥取	ハウスクリーニング講習	9月4日(月)～5日(火)	2	10	20	20
25	倉吉	ハウスクリーニング講習	9月6日(水)～7日(木)	2	10	4	4
26	米子	剪定講習・秋	10月10日(火)	1	20	20	20
27	鳥取	自動車安全運転講習	10月11日(水)	1	10	8	8
28	米子	草刈講習	10月20日(金)	1	20	16	16
29	鳥取	剪定講習・中級	10月24日(火)～25日(水)	2	20	13	13
30	鳥取	草刈講習	10月31日(火)	1	20	26	26
31	大山	草刈講習	11月2日(木)	1	15	16	16
32	八頭	介護送迎運転講習	11月24日(金)	1	10	16	16
33	南部	庭先果樹剪定講習	12月7日(木)	1	15	17	17
34	倉吉	介護送迎運転講習	12月13日(水)～14日(木)	2	15	9	9
35	南部	果樹(柿)剪定講習	12月19日(火)	1	15	12	12
合 計				53	600	579	579

(平成29年4月～12月実施分)



草刈講習・境港



剪定講習 春秋・米子



剪定講習・大山



剪定講習・八頭



パソコン講習 初級 中級・鳥取



パソコン講習 初級 中級・米子



草刈講習・湯梨浜



接遇・マナー講習・岩美



きもの着付講習・鳥取



介護送迎運転講習・米子



接遇・マナー講習・境港



接遇・マナー講習・倉吉



ハウスクリーニング講習・鳥取



ハウスクリーニング講習・倉吉



剪定講習 初級 中級・鳥取



草刈講習・鳥取



草刈講習・大山



介護送迎運転講習・八頭



庭先果樹剪定講習・南部



介護送迎運転講習・倉吉



果樹(柿)剪定講習・南部

シルバー人材センターの紹介

公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター

事務局長 山本 雅宏

本センターは、昭和56年7月1日に社団法人として、山陰地方で初めて設立されたシルバー人材センターであり、昨年度は、設立35周年の節目の年を迎えることができました。

本センターの会員数は、会員拡大に積極的に取り組んだ結果、昨年10月末現在750人と過去最高の会員数となっており、平成28年度の同月と比較して46人(106・5%)の増となっております。

また、請負、委任、派遣事業の契約高も順調に推移し、昨年度は過去最高の272,870千円に達し、さらに、本年度は、昨年度の10月末現在と比較して6,798千円(103・7%)の増となっております。

本センターは、昨年度末に地域社会に貢献する組織づくりと就業機会の拡大、会員の拡大及び会員の能力や資質の向上並びに財政運営の健全化を目的として、第4次中期事業基本計画(平成29年度～33年度)を策定しました。

この中期計画を本センターの活動指針として、会員及び役職員が一体となって取り組んでいくこととします。

本センターは、毎年8月に鳥取市で開催される「鳥取しゃんしゃん祭」で使用される踊り傘の飾り

付けと修理を行っており、鳥取市民をはじめ、周辺の市町から受注しています。

また、鳥取砂丘に隣接する「砂の美術館」では、砂像を彫刻する前の砂塊作成を請け負っており、観光行政の支えをしています。



会員への適正就業の取り組みとして「安全大会」を毎年開催しています。毎年250人程度の会員が出席しており、本年も3月上旬に第17回の大会を開催する予定です。



この大会で、安全・適正就業パトロールや傷害・賠償事故の発生状況等について、情報を共有することで、再発防止の意識啓発を行っています。

新たな取り組みとして、今年度から剪定会員の育成を目指して樹木医を講師に招き、剪定後継者育成講習会を開催する等、会員の技

術を高める努力をしています。



今後とも、鳥取市シルバー人材センターは、会員と一体となって、地域社会に貢献していきます。



シルバー人材センターの紹介

公益社団法人 岩美町シルバー人材センター

事務局長 牧野 淳 正

岩美町は、鳥取県の最東北端に位置し、東は兵庫
県、西は鳥取市、北は日本海に面した町です。山陰
海岸ジオパークの一部である東西15キロメートルの
リアス式海岸「浦富海岸」があり、マリンスポーツ、



観光の拠点と
なっています。

また、平成
29年7月より
「トワイライ
トエクスプレ
ス瑞風」が町
内の駅に停車
し、観光客増
加に向けた魅
力ある観光地
づくりを推進
しているところ
であります。
こうした背
景もあり、観
光関連の仕事
の受注割合が
高いセンター



と言えます。
また近頃は、
農業従事者の
高齢化もあり、
田の畦草刈と
いった受注も
増加していま
す。

典を催し、たくさんの関係者と共に20年の歩みを振
り返り、今後の発展への決意を新たにしました。

平成15年に発足した当センター互助会も活発に活
動を続けています。年2回のグラウンドゴルフ大会、
本会と共催で行う春と秋のボランティア活動や町内



公共施設等への門松寄贈、そして年に1度の親睦会、
役員が中心となり企画運営しています。

また、センターの独自事業として正月飾りを製作、
販売しています。この取り組みは平成20年に岩美町
から町の特産品である「まこも」の収穫後の葉っぱ
を使って何か出来ないだろうかかと相談を受けたひと
りの会員がその葉っぱを使って玄関飾りを製作した
ことから始まりました。

その年、玄関飾りや間中飾り、眼鏡飾りを製作し、
関係者や職員、会員の口コミで予約販売し、好評を
得たことで翌年に正式に独自事業として発足して現
在に至ります。

平成24年にはミニ門松も製作販売するようになり、
こちらもあわせて好評をいただいています。平成28
年には玄関飾り287個、ミニ門松80個、その他の飾り
(二間、半間、眼鏡飾り等)500個を超える予約を承
り、製作する会員も少しずつ増えてきている状況で
す。



今後も課題である会員の増強を図り、適正就業、
安全就業に努めてまいります。

会員の広場

「もう少し」



公益社団法人
米子広域シルバー人材センター

吉持 弘己

右手に持っている、やや芯の先端が丸くなった鉛筆を転がしながら、何を書いたらいいのかと六方に思いを巡らし人生を振り返ると、苦勞したことが多く、楽しい事は少ないようだった。
ただ、一つ一つの出来事を振り返ると、良き仲間たちと同じ時間を夢中になり情熱を傾け充実した時間を過ごし素晴らしい人生であったと自分を褒めていきます。



シルバー人材センターに入会してから十数年になります。その間、諸先輩や同胞会員の入れかわりがあり、今や自分が齢、八十歳になりそろそろと思う反面、まだまだやれると人生百年とおもえば、あと二十年生きていくには少なくとも、それなりに無理をしないで四季折々に姿を変え楽しませてくれる自然相手の「庭木の手入れ」を、仲間に知恵と力を借りて雄大な姿を思い描く剪定作業を『もう少し』やってみようと思っているとところです。

「もう少し」やるには、食と健康を維持することが必要だが、今の自分は、好き・嫌いが多くあり栄



養が偏っているので、人生百年に備えて今からでも改善しようと努力を続けて、いつまでも健康で身の回りのことが自分で出来るようにしたいと思っています。
そして、もう一度元に戻れたら、その時に戻れたらと『ときめき』を感じたいとの思いで、八十は八十歳の年齢相応の目標を立て、今日も満足した日々を送り楽しむことを心掛けていきたいと思っています。

『もう少し』やります！頑張ります！

会員の広場

『これからも楽しく』

公益社団法人

湯梨浜町シルバー人材センター

櫻井孝義



シルバー会員に入会して早いもので7年が過ぎようとしています。

退職して、第2の人生を楽しみたいと思つていましたが、暇な時間が多くなり、少しの農作業や、好きなグラウンド・ゴルフを楽しんでいるとき、シルバー会員さんから暇ならシルバーに入会して、一緒に地域の中で仕事をしたり、会員研修旅行に参加したり、会員交流グラウンド・ゴルフ大会などを通じて仲間も増えて楽しいよと、何回か誘われて入会しました。

草刈班で作業することになり、仕事の段取り、草刈機の安全な取り扱い方など話しているうちに会話が弾み、楽しく作業ができるようになり、夏の暑い

時は仲間の作ったスイカの差し入れで、ホッと一息つき、やる気が湧きます。
この7年間で、草刈班の仲間も体力の衰えで他の仕事に変わったり、退会される会員がおられます。日ごろから普及啓発が必要だと思ひます。



何年か前は同級生3人に声を掛けて入会してもらいました。今は、班長として同級生3人と頑張っています。後継者を育てもつと会員を増やしていかないといけないと思ひています。

地域の方に喜んでもらつて、生きがいを感じて働



き、仲間とのコミュニケーションをはかり、協力して楽しく仕事をしていきたいと思ひます。

趣味のひとつ



公益社団法人
境港市シルバー人材センター

石井 勝彦

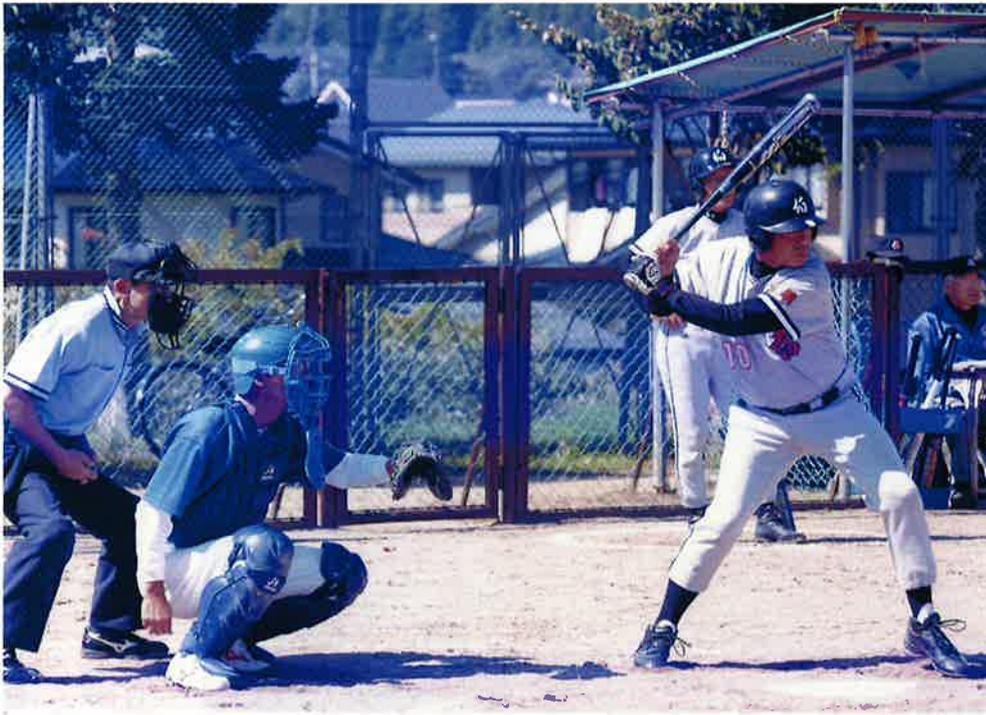
「シニア伯耆クラブ」今私が所属しているソフトボールチームです。週2回の（主に土日）練習に罵声と怒声（笑顔交じりで）とが入り混じった中で汗をかいています。今年の練習も十一月十二日を以って無事終了しました。練習後の一杯のビール、年末には反省会と称して一献傾ける、このひと時のために頑張ってきたと言っても決して過言ではありません。

この夏の甲子園大会で準優勝した母校、セリーグを征した広島カープ、故郷広島から境港に根を下ろして三十五年が過ぎました。定年後シルバー人材センターでお世話になり現在に至っています。

我チームは毎年のように全国大会（ねんりんピック、全日本シニア等）に参加しています。決して強豪チームではないのですが、それでも全国では常連となりました。他府県の顔見知りになった人たちと「今年も来ましたネ」が合言葉になり楽しく自県の自慢話に花が咲きます。

初戦を突破するために各チームは全精力を使います。その初戦を昨年長崎大会で久しぶりに勝ち取りました。しかし二回戦に進めず否応なく帰鳥する羽目になりました。前日の大雨で一回戦が中止で次の日（日曜日）に延期となりました。それはそれで観光めぐりが出来てよかつ

たのですが、帰りの切符は購入済みで月曜日に仕事がある人もおり痛し痒しでした。皮肉なものでこんな時に勝つんですよ。二回戦の相手チームに事情を説明して泣く泣く帰路につきました。多分相手は内心喜ばれたと思います。
平均年齢六十五歳の中、私は七十二歳とチーム内では後期高齢者。しかし技術と体力とやる気は誰にも負けないと自負しています。



シルバーと係って十六年、色々な仕事をさせて頂き感謝しています。又お客さんの「ありがとう」の一言を胸にいつまでやれるか分かりませんが、体の続く限り頑張っていきたいと思っています。

今後とも境港シルバーを、よろしくご指導のほどお願い致します。



趣味のひととき

公益社団法人

北栄町シルバー人材センター

職員 福田 泰宏

今日の潮は速い？遅い？本潮？逆潮？風向きは？
布団の中から想像する。

明日は何を釣ろうか？竿は？仕掛けは？どここの瀬
に向かおうか？。想像するだけで、胸がワクワク。

妻いわく「船釣りは一番贅沢な趣味（道楽？）」。
私もそう思う。自分で漁をし、新鮮な肴を食べ、人
に振る舞う。いくら疲れていようと。釣りは別。釣
れなくても、海にでるだけで気持ち落ち着くのは
不思議だ。



マリーナ大栄

ら愛艇「さくら丸」
で出船。季節ごと
に釣れる魚と遊ぶ。
早春はボツカ
(カサゴ) などの
根魚。
春は真鯛。梅雨
に入ると白イカ。
夏のイサキ。
秋から冬はヒラ
メ、サワラと日本
海の魚が季節を楽
しませてくれる。
最近、ハマッて

落とし込みで大物

マリーナ大栄か



愛艇「第2さくら丸」

いるのが、
「落とし込
み」という
釣り方。カ
ラ針仕掛け
沈めて、小
型のアジや
イワシを釣
り、そのま
ま海底近く
で大物のア
タリを待つ。
大物が餌近
づく和小魚
が暴れる。

それが竿先に現れる。前アタリだ。やがて竿先が海
中へ。「ヨシ。ヒラメか？」。ラインを送ったり、巻
いたり魚との駆け引き。この瞬間、感触がたまらな
い。

釣れないのは潮のせい

しかし、毎回釣れるとは限らない。潮加減という
か、魚の食い気が釣果を左右する。

潮が全く動かないときは「潮が悪かった。食い気
がない」と潮のせいにする。「昨日までは釣れてい
たのに。なんで」と、ぼやく。決して自分の腕のせ
いにはしない。自然は分からないことが多い。だか
ら面白い。

釣れた魚を、どう料理しようかとネットでレシ
ピを検索するのも楽しみだ。

レパートリーも広がる。「旨い」といって食べて
やらなければ魚に申し訳ない。今後も釣りは止めら
れそうにない。それには「安全第一」。



(c) pipi.pya.jp



H29.11 「サワラ90CM」

講習会に参加して

剪定講習を受けて



公益社団法人
大山町シルバー人材センター

清水 醇 三

平成二十九年三月に、大山町シルバー人材センターに登録し、センターからの通知により、五月三十日の午前中に整姿・剪定などの講義を受け、午後からは町内の民家にて庭木の剪定作業の講習を受けました。



2017/05/30

職業訓練校にて日本庭園作庭を学び、「君志会」を立ち上げて、庭の手入れをしていました。三十年も

そもそも私は、日本庭園を観て廻るのには興味はありましたが、自分で庭の手入れを行うおうとは、あまり考えていませんでした。しかし、今は他界した父が定年後に、友達と

前のことですが、今は私自身がシルバーで、剪定作業を約八か月行っています。

庭木の種類だけでなく、庭全体の雰囲気、作庭の意義まで考えて剪定するのは、大変面白く興味深い物があります。父の形見の鉢を握り、これからも剪定作業に励んでいきたいと考えています。

学んだように安全第一とし、シルバー人材センターに、うちの庭を頼んで本当に良かったと、喜んでもらえるよう、知識と技能を身に付けて行かなければと考えています。

草刈講習に参加して



公益社団法人
南部広域シルバー人材センター

乾 雄 二

平成二十九年六月二十三日、南部町で開催された草刈講習会に参加しました。

私のシルバー人材センター入会は平成二十九年四月。日頃は南部町内の自動車部品製造の企業で、派遣就業をしています。派遣の仕事は午前中なので、午後からは頼まれればたまに草刈りや剪定片付けの就業もしています。

今回の受講申し込みの動機は、「刈払機安全衛生教育講習修了証」の資格取得が目的でした。

公共施設での草刈り就業には、この資格が必要と聞いたことと、刈払機の安全な操作をもう一度学びなおしたいと考えたことも一因です。

刈払機は四枚刃の時代から四十年以上使っていますが、受講後に改めて感じたことは、安全についての注意や配慮が、いかに大切かということでした。

例えば下り斜面での作業禁止。複数での作業は安全な間隔を維持する。キックバックを引き起こす障害物を作業前の点検で確認など挙げればきりがありませ



2017/06/23

ん。

また、複
数人の作業
では、人の
ペースが速
いと焦りが
生じ、事故
に結びつき
やすいとも
感じました。
今回の講

習では、刈払機の構造や安全な操作を、一日がかりで徹底的に指導していただき、安全就業に努めていきたいと思えます。



接遇・マナー講習を終えて



公益社団法人
鳥取市シルバー人材センター

富山 実

平成二十九年度接遇・マナー講習を終えまして、私は今回合せて三度受講させて頂きました。私が鳥取市シルバー人材センターの会員になりまして、四年半が過ぎました。



会員の皆様方は、私より人生の先輩方で、多くの事柄に精通されておられます。それでも接遇・マナー講習を受講され、熱心に自らの能力を引き上げようと、熱心に努めておられ、感銘致しました。

私は鳥取市シルバー人材センターの駐輪場管理業務ですが、

あつと言う間に四年半が過ぎ去りました。

業務と致しましては、接遇が大切な仕事の一つです。お客様の多くは学生ですが、様々なお客様が利用されます。一般市民、県外からお越しのお客様、海外からのお客様と接遇が大切な仕事です。

接遇・マナー講習は、講師の先生が親切、丁寧に講演され、大変分かり易く、これから残り少ない管

理業務に役立てていきます。

当初業務管理は、心配事で一杯でしたが、先輩管理の方々御指導もあり、四年半の長きに渡りなんとか業務を続けられました。

残り月日、心を尽くしたいと思えます。

私なりに、お客様が鳥取の生活を楽しく過ごして頂ける様、御案内させて頂きます。

終わりに「声は人なり、言葉は心なり」とある方が語っておられます。

人はそれぞれの言葉、風習、慣習とその人を創り上げています。

マニユアル人間にならない様に、親切な態度、心優しい言葉の接遇を心掛けていきます。

この様な講習の機会を与えて頂きました事を、鳥取県シルバー人材センター連合会の皆様に、厚く御礼申し上げます。

誠に有難う御座いました。

自分が考え工夫するお掃除を目指して 『ハウスクリーニング講習』から学ぶこと多し



公益社団法人
米子広域シルバー人材センター

金澤 伸 吾

米子食品会館にて、去る七月二十五日・二十六日の二日間にわたり受講しました。受講者は多く定員を越える二十八名が参加していました。

日頃からシルバー人材センターのサービスマンで行っている作業なので、講習内容を軽く考えていました。いざ受講してみると「分かっているつもり」が、無駄な動作・作業が多いことに気づきました。

《基本とコツを押さえて、価値ある仕事を身に付け、効率よくキレイに行うことを習慣付ける》が肝要であると、改めて思い直しました。



「お掃除の理論と実践」では、お掃除の三つのステップ(①プラン(計画)②ドゥ(動作)③チェック(確認))、お掃除の三つのルール(①上から下に(ほこりが下に積もる)②奥から手前に(出入口付近が最後に)と効率的)③一方通行に(無駄な動作を省き見落としも防げる)を学びました。

お掃除実践編では、作業の基本(作業効率を上げる五つのコツ、掃除機のかけ方、拭き掃除、窓拭き(手順))について学びました。

お掃除は、楽しくするもの。工夫すると、お掃除は楽しくなります。他人から指示されて動くのは、ちっとも楽しくありません。自分で考え、自分で決めて動く、達成感が生まれます。

今回の研修会を通して、新しい掃除への考え方、やり方を習得出来たことは、当初想像をしなかったことでした。

こうした場を開催された鳥取県シルバー人材センター連合会、そして担当者の方々に厚くお礼を申し上げます。

研修後の掃除に大いに役立っております。感謝申し上げます。

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名称	代表者	〒	所在地	電話番号	FAX
(公社)鳥取市シルバー人材センター	田中 勉	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社)米子広域シルバー人材センター	仲村一男	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	山脇 誠	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社)境港市シルバー人材センター	高松 武美	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社)南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社)智頭町シルバー人材センター	小林 實夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	溝口 修	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社)湯梨浜町シルバー人材センター	小居 貞歳	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	近藤 昭夫	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春壽	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	池岡 利行	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



新年明けまして
 おめでと
 う
 ございます

表紙のことは

大山とかやぶき小屋

江府町御机のかやぶき小屋と大山を同時にカメラに収めることが出来る絶好のスポット。日本の原風景ともいえるかやぶき小屋は、約80年前に建てられ、昨年10月にふき替えられたそうです。

本年は、大山開山1300年となる記念すべき年を迎えました。

あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第32号の発行を迎えることが出来ました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

平成29年は、北朝鮮問題、九州北部豪雨、プロ野球日本ハム(北海道)の大谷翔平のドリフト移籍、キタサンブラックの活躍等により「北」の字で表す世相となり、「北は二人が背を向けている形の字」とか。

今年も、平和で明るい話題が溢れる年となりますように祈っています。

会報 鳥取 第32号
平成30年1月発行

発行：公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76
電話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537